

製品名: RPAB2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17341**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	13kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR2F POLRF
別名	
遺伝子 ID	5435.0
SwissProt ID	P61218
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

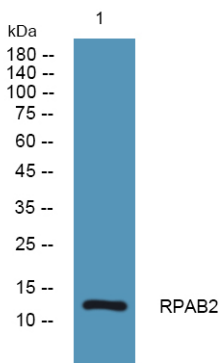
この遺伝子は、真核生物でメッセンジャー RNA の合成を担うポリメラーゼである RNA ポリメラーゼ II の 6 番目に大きいサブユニットをコードしています。酵母では、このポリメラーゼサブユニットは、少なくとも他の 2 つのサブユニットと組み合わせて、DNA テ

ンプレート上で転写ポリメラーゼを安定化させる構造を形成します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年7月]機能: DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。リボソーム RNA 前駆体、mRNA 前駆体と多くの機能性非コード RNA、5S rRNA や tRNA などの低分子 RNA をそれぞれ合成する RNA ポリメラーゼ I、II、III の共通成分です。Pol II は、基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構の中心的な成分です。Pol は、互いに対して移動する可動要素で構成されています。Pol II では、POLR2F/RPB6 はクランプ要素の一部であり、RPB1 および RPB2 の一部とともに、RPB4-RPB7 サブ複合体が結合するポケットを形成します。類似性: 古細菌 rpoK/真核生物 RPB6 RNA ポリメラーゼ サブユニット ファミリーに属します。サブユニット: RNA ポリメラーゼ I (Pol I)、RNA ポリメラーゼ II (Pol II)、および RNA ポリメラーゼ III (Pol III) 複合体の構成要素で、それぞれ少なくとも 13、12、および 17 個のサブユニットから構成されます。、

研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNA ポリメラーゼ、ハンチントン病、

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、RPAB2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩